

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（区南部）

品川区・大田区

1 選定病院

公益財団法人 東京都保健医療公社 荏原病院（大田区）

所在地：東京都大田区東雪谷4-5-10

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	<p>(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・支援センター中心でなく、地域の協力施設などを含めた地域リハ関係者が行う症例検討会・勉強会を支援し、各職能団体が自ら地域リハを活性化できるような取り組みを行う。 ・症例発表会、講演会（1回/年）</p> <p>(2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・同上</p>					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	<p>(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・地域の協力施設などを含めた地域リハ関係者と介護支援専門員とが交流できる活動を支援し、医療・介護・福祉の地域医療連携を強化する。 ・リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流会（2回/年）</p> <p>(2) ケアマネジャーへの研修 ・上記の交流会時に研修会も開催（2回/年）</p> <p>(3) ケアプラン相談支援 ・随時</p>					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	<p>(1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・地域協議会（1回/年）</p>					
選択する役割	<p>(1) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・区南部圏域脳卒中医療連携推進幹事会にセンター担当医師が参加</p> <p>(2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・大田区高次脳機能障害者連絡会や目黒区高次脳機能障害者支援連絡会にセンター担当医師が参加</p>						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等（選択する役割）	これまでの取組状況（実績等）	小項目合計	総合評価
点数	3.80	3.80	3.80	3.60	3.80	18.80	4.00

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 2か所	無 -か所	有 4か所	無 1か所
現在の連携状況	<p>【連携内容】</p> <p>○品川区 ・地域リハビリテーション支援センターが開催する講演会等の周知及び参加協力</p> <p>○大田区 ・「区南部地域リハビリテーション支援事業」の講演会や症例検討会には、専門職も含めて参加させて頂き、知識・技術の向上や情報交換の場とさせて頂いています。 ・特に、荏原病院が実施している「専門的リハビリテーションの充実事業」では、連絡会、講演会、症例検討会の機会を頂き、大田区としても知識の向上とともに参加している病院、事業所間との連携を図っています。 ・大田区での「区市町村高次脳機能障害支援促進事業」での支援者連絡会（区内のリハ科のある14病院と行政機関が参加）や啓発講演会にも荏原病院からの協力を頂き実施できている。</p>		<p>【連携内容】</p> <p>○品川区医師会 ・区南部地域協議会における委員</p> <p>○大森医師会 ・協議会委員の推薦 ・協議会、講演会、研修会への参加</p> <p>○田園調布医師会 ・症例検討の報告・改善点がないか委員会開催</p> <p>○蒲田医師会 ・リハビリテーションに関する相談や情報提供 ・講演会、研修会及び連携会への参加等</p>	
指定に対する意見	<p>○品川区 ・区と地域リハビリテーション支援センターとの連携関係が一層充実していきますよう、引き続きご支援ください。</p> <p>○大田区 ・荏原病院には、大田区のリハビリテーション（特に高次脳機能障がい支援）の中核的な役割を引き続きになって頂きたいと考えています。大田区へも専門的知識や抱える課題への助言等のご支援を頂きたいので、再指定して頂く事を要望します。</p>		<p>○田園調布医師会 ・特に理学療法への研修会を増やしてもらいたい。</p>	
事業計画に対する意見	<p>○大田区 ・「地域の関係団体の支援」にあります患者会（家族会）の活動にも、今までどおり深いご理解のもとに支援をいただきたく思います。</p>			

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について②（区西部）

新宿区・中野区・杉並区

1 選定病院

慶應義塾大学病院

所在地：東京都新宿区信濃町35番地

2 事業計画と選定委員会での総合評価

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・若手療法士やリハビリ関連職種を対象としたリハビリテーションの知識・技術の提供、経験豊かな療法士やかかりつけ医にとっても役に立つ先端的リハビリテーション技術などに関する研修会、講演会、症例検討会を開催する（3～4回/年） (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・同上					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・リハ施設従事者とケアマネジャーを対象とした研修会を開催、またグループワーク形式などにして、他職種との交流の場とする。（2～3回/年） (2) ケアマネジャーへの研修 ・ケアマネジャーから要望の高い内容を情報収集し、研修会を開催（2～3回/年） (3) ケアプラン相談支援 ・個別対応（日時：特に決まりなし）					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・新宿区地域リハビリ連絡会（2～3回/年） ・新宿区リハビリテーション連携検討会への座長、スーパーバイザーとして参加 ・区西部リハビリテーション連絡会					
選択する役割	(1) 区市町村による在宅リハビリテーション支援事業等への支援 ・リハビリテーション連携検討会への協力 (2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・区西部高次脳機能障害支援地域ネットワーク連絡会開催、連携施設から電話等で相談対応し、一部は医療連携室を通じて当科の診療に繋がっている。						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等（選択する役割）	これまでの取組状況（実績等）	小項目合計	総合評価
点数	3.75	3.50	3.50	3.00	3.25	17.00	3.25

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 1か所	無 2か所	有 1か所	無 2か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○新宿区 ・リハビリテーション（摂食嚥下機能支援）に関する検討会議の参加（座長・委員） ・リハビリテーション（摂食嚥下機能支援）に関するリーフレット等啓発教材作成時の監修 ・摂食嚥下機能支援研修会の開催協力 ・摂食嚥下機能維持・低下予防に関する体操の作成及び普及への協力 ・介護予防事業（住民主体の通いの場に理学療法士、作業療法士を派遣する事業）への協力 ・介護予防に向けた区オリジナルトレーニング開発等検討会への参加（委員）		【連携内容】 ○新宿区医師会 ・新宿区と医師会が協働して行う課題別連絡会議で「地域リハビリ」を取り上げ、慶應義塾大学病院、国立国際医療センター病院リハビリ科を中心に病院から退院して地域に戻る際のリハビリに関する様々な問題点につき議論し、課題を共有した。	
指定に対する意見	○新宿区 ・地域の中核的な医療機関として、今後も機能いただけるようお願いしたい。 ○中野区 ・高齢化の進展に伴い、今後ますます地域リハビリテーションの重要性は高まっていくと思われる。特に虚弱層を対象とした介護予防における専門的な助言や協働の取組を期待する。		○新宿区医師会 ・上記会議で抽出された課題、多疾患（循環器、呼吸器、認知症など）を有する高齢者入院の6～7割はリハ不十分なまま地域へ戻る。病院と地域でリハビリが途切れぬよう、ぜひ今後も強い連携と情報共有（特にPTからの）をお願いしたい。	
事業計画に対する意見	○中野区 ・リハビリテーション専門職へのフレイルや介護予防に関する知識・技術の研修など、地域での関わりや活動に繋がる取組とともに、他区や各士会との情報交換や連携を期待する。		○新宿区医師会 ・多方面への支援に感謝いたします。新宿区には多くの病院があり、地域へ戻る高齢者が入院している。仮の要介護者（動かせないで要介護度が固定化）に陥らないための方策を立案し、区全体で共有できるよう医師会（在宅ケア・介護保険委員会など）も協力したいと思う。新宿区内の病院同士も連携を進め、地域リハビリへ積極的に関わって頂きたい。 ○中野区医師会 ・区西部医師会会員、職員を対象とした講習会等を企画、開催して頂き、地域リハビリテーションの連携推進を要望します。	

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について③（区西北部）

豊島区・北区・板橋区・練馬区

1 選定病院

公益財団法人 東京都保健医療公社 豊島病院（板橋区）

所在地：東京都板橋区栄町33番1号

2 事業計画と選定委員会での総合評価

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・4区を対象に、生活支援におけるテーマについて事例検討を行い、チームとしての地域リハビリテーションを推進する。(4回/年) (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・同上(1回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・ケアマネジャーの支援ニーズに合わせた研修等の充実を図る。ケアマネとリハ施設従事者の事例検討会(1回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・ケアマネジャー研修(脳血管疾患、内部障害、認知症、排尿障害等に対する理解やアプローチの方法)(1回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・メール、FAX等で24時間随時受付、グループホーム、特養等への出張相談・出張研修					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ①区西北部地域リハビリテーション・高次脳機能障害支援普及事業協議会 ②地域リハビリテーション協力施設連絡会議 ③板橋区高齢者等地域リハビリテーション連絡会議 ④板橋区リハビリテーションネットワーク会議					
選択する役割	(1) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・板橋区脳卒中懇話会リハビリテーション部会への参加(理学療法士)及び「サ-バ-」参加(医師) (2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・高次脳機能障害支援普及事業(専門的リハビリテーションの充実事業)において支援を行う。高次脳機能障害事例検討会の開催等						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	4.00	3.75	3.50	3.75	3.75	18.75	3.75

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 3か所	無 1か所	有 3か所	無 1か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○北区 ・「区西北部地域リハビリテーション・高次脳機能障害支援普及事業協議会」に参加 「高次脳機能障害連携会議」に参加 リフレット「高次脳機能障害のある方の手続き」の作成 高次脳機能障害講演会のちらしの作成 ○板橋区 ・①板橋区地域リハビリテーション連携会議への委員出席 ②地域リハビリテーションサービス調整会議(介護予防のための地域ケア個別会議)への助言者出席 ③板橋区地域リハビリテーション多職種連絡会の共催 ④生活期のリハケア推進シンポジウムの共催 ⑤住民運営通いの場の動機づけ支援、立ち上げ支援、継続支援への協力 など ○練馬区 ・豊島病院の練馬区内の協力施設に、練馬区地域リハビリテーション活動(自立生活支援)事業を委託している。		【連携内容】 ○豊島区医師会 ・区西北部地域リハビリテーション支援センター主催の協議会に参加、ホームページの閲覧 ・区西北部地域リハビリテーション支援センター協力施設(豊島区)の長汐病院担当者との会開催 ・講演会、研修会の案内、参加 ○板橋区医師会 ・「区西北部地域リハビリテーション・高次脳機能障害支援普及協議会」・「板橋区高齢者等地域リハビリテーション連絡会議」への参加 ・板橋区脳卒中懇話会(リハビリテーション部会)への参加 ・板橋区在宅療養ネットワーク懇話会への参加 ・「リハ・ケアシンポジウム」へ本会より講師・シンポジストを派遣 ・医師会と豊島病院において医療連携会議が年1回開催され、十分な連携が確立されている。 ○練馬区医師会 ・「一般社団法人練馬区医師会と財団法人東京都保健医療公社豊島病院との医療連携に関する協定書」を締結している。	
指定に対する意見	○北区 ・地域リハビリテーション支援センターが中心となり、所属機関の施設長が地域リハ事業の活動を理解し地域活動に従事できるような体制を整備して頂きたい。 東京都介護予防推進支援センターとの連携も必要。 今後も引き続き、リフレットやちらしの作成等の支援をお願いしたい。 北区には高次脳機能障害を診察できる医療機関が少ないため、区内医療機関への支援をお願いしたい。 ○板橋区 ・当区の地域リハビリテーション支援体制の構築に向けて、多大なご協力をいただいておりますので、引き続き指定の継続を要望します。		○豊島区医師会 ・指定に関して通知や方法などに異論はない。 ・区西北部では平成16年から豊島病院が指定されているが、これについても異論はない。 ○北区医師会 ・区西北部は人口が90万人以上の巨大医療圏であるため、単一医療機関のみでカバーできるかどうか疑問です。他のリハビリ病院との連携がより大切と思われます。 ○板橋区医師会 ・引き続き豊島病院の指定を要望する。	
事業計画に対する意見	○北区 ・リハ専門職を活用し地域づくりによる介護予防の推進が求められている。リハ専門職には、病院や介護事業所での活動以外にも地域づくりの観点での住民支援の技術を学ぶ機会を提供していただきたい。 ○板橋区 ・今期、事業計画に対して引き続き協力させて頂きたい。 ・地域のリハビリテーションにおける医療・介護連携の現状や課題把握に向けて、区西北部の地域リハビリテーションに関する医療データなどがあれば、情報提供頂きたい。		○豊島区医師会 ・実施計画書に関して概ね異論はない。 ・豊島区としてはリハビリテーション従事者の連携体制構築が不十分のため現在整備中だが、これに関する支援が可能であれば幸いである。 ・医師会員のリハビリに対する情報が不足している状況があるので、かかりつけ医を対象としたリハビリに関する講演会等のニーズが増えてくるとよいと考えている。 ・区境を越える連携が進んでくるとよい。リハ従事者での連携はできているかもしれないが、医師会員の連携体制はまだ不十分な印象。 ・災害時のリハ支援は豊島区内としての体制が不十分なので、今後の対応を検討していきたい。 ○板橋区医師会 ・社会適応能力の維持を目的とした、生活期リハビリテーションの充実が望まれる。 また、本事業が2025年に向けた医療・介護の連携の確立に活かされるよう期待する。	

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について④（区東部）

墨田区・江東区・江戸川区

1 選定病院

東京都リハビリテーション病院（墨田区）

所在地：東京都墨田区堤通2-14-1

2 事業計画と選定委員会での総合評価

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・リハビリ多職種連携研修会（4回/年） (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・各区在宅リハビリテーション支援事業サポート医向けフォローアップ研修会への講師派遣（3回/年）					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・リハビリ多職種連携研修会（4回/年）。出席者同士による地域の情報交換や、リハビリ専門医・療法士によるリハビリテーションに関する情報提供を通じて、関係者の連携を図る。 (2) ケアマネジャーへの研修 ・リハビリ多職種連携研修会（4回/年） (3) ケアプラン相談支援 ・電話、メール、面談など 月～金曜日 8時30分～17時15分					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・区東部地域リハビリテーション連絡協議会幹事会（2回/年）					
選択する役割	(1) 区市町村による在宅リハビリテーション支援事業等への支援 ・墨田区在宅リハビリテーション支援事業事務局を担当し、利用希望者に対する医師の診察、療法士によるリハビリプログラムの提供、サポート医からのリハビリに関する質疑対応 (2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・高次脳機能障害支援普及事業（専門的リハビリテーションの充実事業）により、区東部の支援者に対する相談窓口、症例検討会や講演会、圏域連絡会等を実施						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等（選択する役割）	これまでの取組状況（実績等）	小項目合計	総合評価
点数	4.25	4.25	4.50	4.25	4.25	21.50	4.25

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 3か所	無 -か所	有 3か所	無 -か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○墨田区 ・墨田区地域リハビリテーション支援事業での連携・推進 ・墨田区在宅リハビリテーション支援事業の推進・体制整備 ・フレイル予防に関する普及啓発 ○江東区 ・区東部地域のリハビリテーション連絡協議会への参加 ・研修会の講師派遣、リハビリテーション支援センター主催研修への参加 ・地域包括支援センター運営協議会委員委嘱 ○江戸川区 ・東京都リハビリテーション病院（以下「都リハ」）が事務局である区東部地域リハビリテーション連絡協議会幹事会に区からも職員が出席している。 ・江戸川区高次脳障害者支援事業における家族相談会やネットワーク会議へ都リハが参加しており、個別の支援ケースについても区内の地域活動支援センターと連携した対応を取っている。 ・江戸川区高次脳障害者支援事業において平成30年度より専門相談の医師が都リハより地域活動支援センターはるえ野へ来所して頂いている。 ・区東部地域リハビリテーション推進広域派遣アドバイザー設置事業により江戸川区内の町会に都リハから講師を派遣して頂き、平成29年12月から平成30年3月の間に合計4回の講義と介護予防の軽運動を行った。		【連携内容】 ○墨田区医師会 ・同支援センターと医療連携連絡協議会を開催している。 ・同支援センターと墨田区と連携し、墨田区在宅リハビリテーション支援事業を実施している。 ・同支援センターが主宰している「区東部地域リハビリテーション連絡協議会」に参加している。 ○江東区医師会 ・「リハビリ多職種連携研修会」への参加 ○江戸川区医師会 ・「区東部地域リハビリテーション連絡協議会」および「幹事会」	
指定に 対する意見	○墨田区 ・東京都のリハビリテーションの中核を担う病院であり、ふさわしいと考える ○江東区 ・地域医療体制充実のため、指定の継続を希望します。 ○江戸川区 ・地域リハビリテーション支援事業については、計画にあるような事業を広域的に行っていけるよう各区の協力医療機関と連携するなどの運営体制を都リハが取れるようにしてもらいたい。 ・高次脳機能障害への対応については、江戸川区と都リハで顔の見える関係が構築されており、今後も継続して都リハと連携を深化していきたい。		○江戸川区医師会 ・区東部として平成13年より墨田区の東京都リハビリテーション病院が地域リハビリテーション支援センターに指定されています。高い専門性や充実したスタッフ・施設と大変に心強く感じております。	
事業計画に 対する意見	○墨田区 ・地域のリハビリテーション職員の資質向上にさらに注力して頂きたい。 ○江戸川区 ・公開講座や多職種連携会議を江戸川区区内においても開催してもらいたい。 ・災害発生時のリハビリテーション支援のために、江戸川区及び区内医療機関が平時から準備しておくべき事項について助言を頂きたい。 ・症例が希少な小児の高次脳機能障害など、単独の区では対応が困難な事例に関して広域的な調整をお願いしたい。 ・平成30年3月31日をもって終了した区東部地域リハビリテーション推進広域派遣アドバイザー設置事業を復活してほしい。		○江東区医師会 ・地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等の参画による連絡会の開催については江東区、墨田区、江戸川区医師会いずれも医療専用非公開型SNS「メディカルケアステーション（以下MCS）」を採用しており、連絡会の回数を減らすことが可能で、かつ内容を充実させることができると思われる。江東区においては地域包括支援センター（21か所）にMCS専用のタブレット端末が支給されており、利用可能である。 ・現状として通所系サービスの理解不足がケアマネジャーの中で起こってしまっている。疾患によって受けるべき通所系サービスをケアマネジャーが選択できていない現状がある。今回の事業を通じてぜひ指導して頂きたい。 ○江戸川区医師会 ・超高齢社会に突入し、益々、在宅リハビリ支援センターの取組を認識する必要があり今後も江戸川区区内において、講演会や啓発のための事業展開を増やして頂きたい。	

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について⑤（西多摩）

福生市・羽村市・青梅市・あきる野市・瑞穂町・奥多摩町・日の出町・檜原村

1 選定病院

医療法人財団 利定会 大久野病院（日の出町）

所在地：東京都西多摩郡日の出町大久野6416

2 事業計画と選定委員会での総合評価

小項目	事業計画						
地域リハビリテーション力の向上	<p>(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都理学療法士協会、都作業療法士協会が開催する症例発表会や、西多摩医療福祉連携研究会が主催する研究発表会に協力（3回/年） ・西多摩医師会を中心とした西多摩地域脳卒中医療連携症例検討会等に協力する。 <p>(2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西多摩医師会と協力し、リハビリテーションに関する研修会を実施（1回/年） 						
訪問・通所リハビリテーション分野への支援	<p>(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、訪問・通所リハのリハスタッフと地域のケアマネとの情報交換会（1回/年） <p>(2) ケアマネジャーへの研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「典型事例から学ぶ!」シリーズ研修会（3回/年） <p>(3) ケアプラン相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターでの直接受付 月～金 9時～17時 						
地域リハビリテーション関係者との連携強化	<p>(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西多摩訪問リハビリテーション連絡会（6回/年） ・西多摩リハビリテーション連絡会（1回/年） 						
選択する役割	<p>(1) 区市町村による在宅リハビリテーション支援事業等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅神経難病患者やその家族へのリハビリテーション技術の提供 ・各市町の介護保険課や障害福祉課からの、在宅療養中の方の対応困難時などの相談支援、コーディネート、講師派遣等 <p>(2) 脳卒中医療連携推進事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青梅市立総合病院開催の「西多摩医療福祉連携研究会」において連携に関する演題発表 						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等（選択する役割）	これまでの取組状況（実績等）	小項目合計	総合評価
点数	4.00	3.80	4.20	4.00	3.80	19.80	3.80

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 7か所	無 1か所	有 1か所	無 1か所
現在の連携状況	<p>【連携内容】</p> <p>○福生市 ・介護予防普及啓発イベント（理学療法士による体力測定）の開催 ・介護予防講演会の講師派遣調整</p> <p>○羽村市 ・大久野病院には高次脳機能障害相談支援事業を委託しています。月2回、相談員を派遣し、高次脳機能障害のある方や家族の相談、受入事業所の相談などに対応して頂いています。</p> <p>○あきる野市 ・研修への参加 等</p> <p>○瑞穂町 町で行う一般介護予防事業における地域リハビリテーション活動支援事業へのアドバイスを頂いたり、介護予防講演会の講師をご紹介頂くなどしている。また、センター主催の連絡会等に参加させて頂いている。</p> <p>○日の出町 ・総合事業における介護予防ボランティア養成研修や介護予防リーダー研修の講師、また、日出町在宅医療・介護連携検討会（多職種検討会）への参加、協力など。</p> <p>○檜原村 ・圏域連絡会への参加（全2回） ・一般介護予防事業運動機能向上トレーニングの指導（全2回） ・サロン活動団体での運動の指導（全1回） ・住宅改修の家屋調査（全1回） 平成30年度 ・圏域連絡会へ参加予定 ・住民の介護予防活動の相談</p>		<p>【連携内容】</p>	
指定に対する意見	<p>○青梅市 ・青梅市民が退院し、地域に戻る際の連携を強めていきたい。</p> <p>○奥多摩町 ・当町では、平成30年からリハビリテーション専門職等を活用した高齢者の自立支援に資する取組を開始したが、住民自主グループへの関与が1事例のみである。今後は、町全域に事業の重要性を周知し取組の拡大が必要であると考えている。しかし、当町はリハビリテーション専門職の資源が少なく、取組の拡大には地域リハビリテーション支援センターとの連携が必要である。今後もリハビリテーション専門職の関与について、相談、支援をお願いしたい。</p> <p>○檜原村 ・医療法人財団利定会大久野病院を地域リハビリテーション支援センターに指定することについて異議はなし。引き続き地域における介護予防の取組を進めるため、関係機関との連携を図って頂きたい。</p>			
事業計画に対する意見	<p>○福生市 ・介護予防関連イベントの開催支援（要望） ・介護予防講演会の講師派遣調整等の支援（要望） ・地域の集いの場での介護予防への支援（要望）</p> <p>○青梅市 ・在宅療養中の方への対応困難時の相談支援及びコーディネートをより強化して頂きたい。</p> <p>○あきる野市 ・西多摩地域全域において、地域リハビリテーションのサービスが平等に提供されているか、現状把握とともに体制整備について検討してもらいたい。</p> <p>○奥多摩町 ・「市町村による在宅リハ支援事業への支援」に計画されておりますが、引き続き、地域へのスムーズな講師派遣をお願いしたい。</p> <p>○日の出町 ・引き続き、地域包括ケアシステム構築に向けた取組への協力をお願いします。</p> <p>○檜原村 ・事業計画の内容を適切に実施し、地域福祉の向上のためご尽力いただきたい。</p>		<p>○西多摩医師会 ・適正に運用されていると考えます。</p>	